

9月定例会 一般質問要旨



駐輪場の整備について



創政クラブ 松川 翼

議員 市内の鉄道駅の令和2年度の乗降客数は、最も多い太田駅が1日平均約8,000人、次に細谷駅が約2,100人です。周辺に学校が多く、市営の駐輪場がない細谷駅では違法駐輪が目立つため、対策として柵の設置と植樹を行ったようですが、その費用と効果を伺います。

市民生活部長 平成18年度に施工したもので、費用は208万9,500円です。整備後は違法駐輪スペースがなくなり、違法駐輪の見回り、撤去を強化した結果、構内での放置自転車が減ったと考えます。

議員 細谷駅前の工事後、違法駐輪の自転車は別の場所に移動しており、事故の危険もあります。また、民間駐輪場の利用時間は午前6時から午後9時半までと限られています。多くの学生が1日中利用する細谷駅に市営駐輪場を設置すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 警告札等の対策を強化し、民間駐輪場への誘導を図るべきと考えます。

議員 太田市放置自転車等防止条例

施行規則の規定では、太田駅・蕪川駅前の特定箇所は違法駐輪があった場合、4時間後に撤去できますが、その他の場所では1週間たたないと撤去できず、抑止力になっていません。正当に料金を払って駐輪場を利用している人との整合性をとるためにも、条例における特定箇所を市内の全ての駅周辺に広げるべきと考えますが、所見を伺います。



市長 条例を改正し、短時間で対応する考えはもっともです。十分に検討して、違法駐輪をなくしていければと思います。

■その他の質問

- ・自転車の交通安全対策について
- ・原動機付自転車のナンバープレートについて



長引くコロナ禍における市民のQOL(クオリティ オブ ライフ、生活の質)向上について —高齢者の活動と外出の支援について—



創政クラブ 今井 俊哉

議員 長引くコロナ禍における高齢者への運動施設の提供の在り方について所見を伺います。

文化スポーツ部長 現在、緊急事態宣言中のため、施設の利用制限を設けていますが、予約の要らないトリムコースや公園でウォーキング等をして、健康管理に努めてもらいたいと考えます。

議員 直近3カ年におけるおうかがい市バスの7月末時点での利用登録者数と、2月から7月の利用実績を伺います。



市民生活部長 登録者数は令和元年が3,804人、2年が1,801人、3年が2,055人でした。利用実績は平成31年2月から

令和元年7月までが1万6,081人、令和2年が9,814人、3年が9,624人でした。

議員 登録者数と利用実績の変化の要因について伺います。

市民生活部長 令和2年4月に名簿記載の登録者の利用要件を見直して整理したため登録者数は減少していますが、コロナ禍以後は増加しています。利用実績はコロナ禍の外出自粛により減少しています。

議員 運動や他者との交流のほか、通院や買い物も高齢者の健康維持に欠かせない大切な機会です。運転の不安や事故のリスクを減らし、高齢者の生活の質を高めるため、おうかがい市バスの利用条件を緩和し、歩行以外の移動手段や運転免許があっても利用できる選択肢をつくるべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 必要な人に移動手段を提供できるように検討していきます。

■その他の質問

- ・市政の課題解決と地域経済活性化に貢献するデジタル地域通貨について



一人暮らし高齢者に対するの死後を見据えた支援強化について



公明クラブ 星野 一広

議員 本市における一人暮らし高齢者の見守り支援について伺います。

健康医療部長 民生委員、ふれあい相談員による見守りと、市職員で結成する「おとしより見守り隊」により、毎週誰かが見守りを実施できる体制を構築し、安全・安心な生活を支援しています。

議員 一人暮らし高齢者が突然体調を崩し、最悪の場合には孤立死ということも考えられます。一人暮らし高齢者が亡くなった際の支援について伺います。

健康医療部長 行政が実施する支援はありません。

議員 一人暮らし高齢者の多くが孤立死を身近なものと感じています。そこで、病歴や連絡先、亡くなった場合の葬儀やお墓のことなど、さまざまな情報を事前に登録し、関係機関に開示できるシステムを作ることで、高齢者の希望をかなえられると考えますが、所見を伺います。

市長 一人暮らし高齢者が亡くなった後の支援については、今後社会福祉協

議会において制度やルールを検討し、対応していく必要があると考えます。



議員 亡くなられた人の希望をかなえるための取り組みが実現すれば、県内初であると思います。今後の方針について、所見を伺います。

市長 生前の社会貢献にきちんと報いる必要があると考えます。亡くなられた人の尊厳を守るための取り組みについて、今後検討していきたいと思います。

■その他の質問

- ・大規模土砂災害を防ぐための盛り土規制について
- ・通学路の安全対策について



新田徳川氏発祥の地太田市について



太田クラブ 岩崎 喜久雄

議員 2023年NHK大河ドラマ「どうする家康」の企画制作が決まりました。徳川氏発祥の地太田市をPRする絶好の機会と考えますが、所見を伺います。

企画部長 撮影時期や場所、脚本等、制作過程を見極めながら検討していきます。

議員 令和元年に太田商工会議所により開催された「おたの観光名所総選挙」における上位3名所を伺います。

産業環境部長 世良田東照宮、大光院、ぐんまこどもの国の順となりました。



議員 本市の観光土産は新しいものが発掘、創作されていないと思います。ヤマイトモを生地に使ったまんじゅうや、徳川氏の三ツ葉葵家紋をあしらったおたん

のぬいぐるみ等、市民から意見を募り、観光物産品を掘り起こすべきと考えますが、所見を伺います。

産業環境部長 太田市観光物産協会と協力し、集客の場の提供に努めていきますので、民間の力で新たな物産品の掘り起こしを進めてもらいたいと考えます。

議員 本市には全国的にも評価の高い歴史文化遺産が数多くありますが、市民の中でその意識が薄らいていると感じます。徳川氏発祥の地太田市としての位置付けを確かなものにしていくべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 世良田東照宮を太田市の一番の観光名所として市民全体が認識することがスタートになると考えます。コロナ禍が収束したら、市民による市内の観光名所めぐり等を検討し、それが大河ドラマに結びついていけば良いと思います。

■その他の質問

- ・本市におけるこども食堂の現状と課題について